

科目名	母性看護学特別研究			分野・必選別・ 単位数	専門科目 (リプロダクティブヘルス・ライツ看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 梶原祥子					科目ナンバー	T2C112
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	ライフサイクル各期における健康問題を持つ女性やその家族、マタニティサイクルにある母子とその家族や看護を提供する看護者自身を対象として、看護ケアの開発と実践・評価に関する実証的研究とする。研究のテーマは指導教員との個別面接を通して、自己の関心に沿って決定する。方法は質的、量的な研究のいずれかを使い検証できるものとする。一連の研究方法を総括的に指導し、研究論文作成を支援する。						
授業の到達目標	母性、助産、女性の健康に関する自己の研究課題に対して、テーマの明確化、研究計画書の作成、データの収集・分析を行い、学術的意義の高い論文を作成できる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【第1回】科目概説 研究プロセスの確認</p> <p>【第2回～】看護研究のプロセスに従い、修士論文を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献検討とそのまとめ ・研究課題の明確化、研究方法の検討および決定 ・研究計画書の作成 ・倫理審査 ・データ収集と分析 ・中間報告 ・論文作成 <p>【研究テーマ】</p> <p>(梶原祥子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性のライフサイクルにおける健康支援に関する研究 ・周産期における健康支援に関する研究 						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究プロセスにおける個々の課題については事前準備を十分に行う。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要である。					
教科書	研究テーマに合わせて、研究指導教員が指示する。						
参考書	研究テーマに合わせて、研究指導教員が指示する。						
成績評価の方法および基準	研究計画書および中間発表の内容や達成度60%、研究プロセスの経過40%により評価を行う。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						